

教育実践高度化専攻

専攻のディプロマ・ポリシー(DP:修了認定・学位授与の方針)

<教育理念と教育目的>

教育実践高度化専攻は、確かな理論と優れた実践的指導力を備えた学校管理職候補人材、ミドルリーダー人材、そして即戦力人材の養成を通して地域に貢献することを基本理念としており、愛媛県教育委員会が教員育成指標において求める実践的指導力・組織力・信頼構築力・人間力を備えた教員養成を目的としている。以上の理念・目的は、愛媛大学大学院教育学研究科規則第2条の、「研究科は、学校教育法、愛媛大学大学院学則及び愛媛大学憲章を踏まえ、学校教育と社会教育に関する学術の理論及び応用を教授・研究し、高度な実践的能力を育成する学校教育教員の養成を行うとともに、現職教員の深い学識及び卓越した能力を培い、成長過程に即した研修・研鑽を支援し、学校教育及び広く社会の教育・文化の発展に貢献することを目的とする。」に即している。

<育成する人材像>

教育実践高度化専攻は、確かな理論と優れた実践的指導力を備えた学校管理職候補人材、ミドルリーダー人材、そして即戦力人材の養成を目的としています。愛媛県教育委員会が教員育成指標において求める実践的指導力・組織力・信頼構築力・人間力を備えた教員を養成することを目指しています。

<学習の到達目標>

<知識・理解>

1. 学校改善・授業改善等に関して高度な専門的知識を習得している。

<技能>

2. 学校改善・授業改善等にかかわる高い技能を身につけている。

<思考・判断・表現>

3. 学校教育にかかわる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方を適切に考え、高度な実践力をもって学校改善・授業改善等に取り組むことができる。

<関心・意欲・態度>

4. 学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

＜修了認定・学位授与＞

教育学研究科の定める教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき所定の単位を修得し、修了要件を満たした学生に対して、修了を認定し教職修士（専門職）を授与します。

専攻のカリキュラム・ポリシー（CP：教育課程編成・実施の方針）

＜教育課程の編成と教育内容＞

1. 授業開発過程での理論と実践の融合。研究者教員（理論知）と実務家教員（実践知）の協働による教材開発・共同授業を推進する。（DP(1)に対応）
2. 学習過程での理論と実践の融合。専攻共通基礎科目において、理論を通して実践を見る。（DP(2)に対応）
3. コース別選択科目・発展科目において、実践から理論を生成する。コース別選択科目・課題研究において、生成した理論を実践で生かす。実習科目において、実践省察による理論の修正を行う。（DP(3)に対応）
4. 学校内での理論と実践の融合。大学教員（理論知／実践知）と学校現場（実践知）の協働による共同研究や巡回訪問指導を推進する。（DP(4)に対応）

＜教育方法と成績評価＞

- ・講義、演習、教育実習、体験学習、ディスカッション・グループワーク、プレゼンテーションなど、ディプロマ・ポリシーに示す教育目的と学習の到達目標に応じて最適な形式の授業を実施します。
- ・授業時間外学習に充てる時間を十分に確保できるように履修登録制限を設けています。
- ・すべての授業において、客観的な評価基準に基づいて、筆記試験、口頭試問、レポートなどにより厳格な成績判定を実施します。

＜カリキュラムの評価（学習成果の評価、アセスメント・ポリシー）＞

課題研究報告書及びプレゼンテーションの内容、学生（修了予定者を含む）・実習校・教育委員会等へのアンケート調査やヒアリング調査等によって収集したデータを参照し、学修到達目標の達成状況や学位の学術的な水準について検証します。

専攻のアドミッション・ポリシー(AP: 入学者受入の方針)

<求める入学者像>

<知識・理解>

1. 教職大学院での履修に必要な基本的専門知識を習得している。

<技能>

2. 教職大学院での履修に必要な基本的技能を習得している。

<思考・判断・表現>

3. 教育をめぐる現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。

<関心・意欲・態度>

4. 自己の学習課題・成長課題を明確に意識し、教師として自主的にそれらに取り組もうとする意欲を有し、自発的に社会に貢献しようとしている。

<入学者選抜の方針>

各コースにおける学習に係る適性、意欲、課題意識、分析力および学士課程を通じて修得した専門的学力などを、口述試験を含む面接およびレポートにより多面的・総合的に評価します。現職教員入学生に対しては、コースでの学習に係る適正、意欲、課題意識、分析力、学校等での活動によって得た専門的知識や経験などを、口述試験を含む面接およびレポートにより評価します。